



安岡 明雄  
(市民の声)

## 総合計画の理解を深め 実効性を高めること

**質問** 鳥取市は厳しい財政状況により、新市建設計画を五つの基準（緊急性、地域の実状、効果、熟度、有利な財源の確保）で精査した。また総合計画概要版は市長の公約など多くの数値目標をわかりやすく示している。本市でも市民の理解を深め、実効性を高めるよう取り組むべきではないか。

**答弁** 総合計画では、将来的な財政見通しの中で、限られた財源を有効活用し、施策を着実に推進することとしており、新市建設計画の施策についても「あれも、これも」から「あれか、これか」へ発想を転換しながら、再度検証し、選択精査することになる。戦略的・重点的に取り組むべき施策も明らかにしたい。この計画には、地域課題への対策、今後も継続して取り組むものなどに加えて、市長の公約も組み込むべきと考えている。わかりやすくするため、できる限り施策の数値目標を示し、これを計画の進捗状況をはかる物差しとし

て、実効性を高めたい。

## 歴史の里づくりを 具体的に進めること

**質問** 史跡檜山安東氏城館跡は我が国の歴史研究と檜山のまちづくりにとって大切だ。整備計画策定準備委員会の提言をどう生かすのか。昨年の「景観ガイドラインを視野に入れ地域の拠点施設の整備に取り組む」との状況から、具体的に一步進めるべきではないか。

**答弁** 檜山安東氏城館跡の適切な保存管理と一層の活用のために、まず、整備計画策定委員会を立ち上げ、発掘調査実施や土地公有化の検討が必要であり、その上で、総合計画との整合性を図りながら、整備の指針となる基礎資料調査の成果を反映させた計画の策定に向け準備を進めたい。今後、住民との合意形成と協力のもと、時間をかけて緩やかな景観ガイドラインの策定を目指す。拠点施設については、現在の厳しい財政状況等を踏まえ、ソフト面の施策展開の方策とあわせて検討し、総合計画の策定とあわせ、最終的な方向づけをしたい。

### 安岡議員のその他の質問事項

- まちづくりの基準及び事業の考え方と具体的効果
- 財政健全化の対策と市民への説明



飯坂 誠悦  
(創風会)

## リサイクルポート 指定後の能代港の現状

**質問** リサイクル関連企業に対するアプローチは怎么样了っているのか。港の設備、物流基盤のストック、リサイクル施設の立地に必要な用地のストックの充実をどう考えているのか。国や県に対する要望についてもお尋ねする。

**答弁** 県北地域で汚染土壌の浄化事業やリサイクル製錬に取り組む企業各社とは、綿密に連絡を取るようしており、新たな事業展開等についても折衝していききたい。臨港地区への企業進出、施設整備のためには、工業用地が必要となるが、木材工業団地臨海部の臨海道路をはさんで向かい側の、しゅんせつ土を堆積している14ヘクタールの用地の活用等が考えられ、当該用地を含めて管理する県に対し、企業進出のための用地確保について要望を行っている。また貨物の取扱量がふえた場合、保管施設を初めとした施設整備が必要であり、地域の関係企業とも協議し、国の助成制度の活用などにより必要

な施設整備にも取り組んでいきたい。

## 環境教育

**質問** 能代市の学校における環境教育の現状はどうか。その取り組みコンセプトはどんなものか。環境教育の指導者をどのように育成していくか。認定制度の可能性を含め、人づくりの現状と問題点に関して所見を伺う。

**答弁** 教育委員会では、ふるさとを愛する心の醸成、環境学習の推進、自然体験活動を推進し、各校では、総合的な学習の時間などで環境問題を考える活動を行っている。今後、環境教育の重要性が一層認識され、取り組みが活発化するを期待している。コンセプトは、自然に触れるなどの体験を通して、環境を考え、問題の解決に努めることで、21世紀に生きる地球人としての自覚を持つことだと考える。指導者の育成については、認定制度は今のところ考えていないが、育成に一層力を入れていきたい。今後、市として独自の育成事業が可能か、検討していきたい。

### 飯坂議員のその他の質問事項

- 環境基本計画